

全国農政連推薦・農政連公認
参議院議員藤木しんやの

永田町でも「百姓宣言」

【令和7年度農林関連予算概算要求】

8月27日、自民党農林役員会および自民党総合農林政策調査会・農林部会・農政推進協議会合同会議が開催され、令和7年度農林水産関連予算概算要求案(総額26、389億円(前年度22、686億円))が提示されました。

私は農林役員会の中で「強い農業」づくり交付金が増額要求となっているが、農協等で共同利用施設の増設・改修等の意思決定は4～6月の総代会等で行うため、補助事業は補正予算ではなく当初予算でないと使い勝手が悪い。全国で補修・改修・再編のニーズが高まっている中で、当初予算での措置を二層充実させる必要がある。」と意見しました。令和7年度予算が決定するのは年末になります。改正基本法初年度として、十分な予算確保が重要となるため、今後も予算確保に向けて全力で取り組んでまいります。

・農村政策
審議会企画
部会におい
て、改正基
本法に基づ
く「食料・
農業・農村
基本計画」
の策定に向
けた議論が
始まりまし
た。今後、自



▲8月27日自民党農林役員会

民党内でも議論が始まっています。令和7年3月の基本計画策定に向けて、全力で取り組んでまいります。

引き続き、全国比例区の国会議員として、全国を飛び回っております。可能な限り各地を訪問しております。各地で伺ったご意見や拝見した地域の状況について、国政への反映に努めてまいります。

【8月～9月の間で訪問した地域】

- ・熊本県北部・中部8JA、県連等訪問
- ・自民党福島県連青年局・女性局政策研修会
- ・山形・秋田集中豪雨被災2JA訪問
- ・JAグループ群馬農政集会出席
- ・熊本県大津町開催「子実とうもろこしセミナー」講演
- ・東北・北海道地区道県連会長会議(山形県上市市)出席
- ・JAグループ石川経営者セミナー講演
- ・石川県中部・南部9JA訪問
- ・JAみやざき管内の台風10号被害現地訪問
- ・山形県内JA大豆調製施設竣工式出席
- ・JAグループ福島「畜産農家経営危機突破生産者大会」出席
- ・福岡・熊本・宮崎農業現場訪問(自民党総裁選関連)
- ・静岡西部地区JA理事研修会講演
- ・熊本県内7JA東野ひでぎキャラバン同行
- ・静岡中東部地区JA理事研修会講演
- ・宮城2JA訪問、子実とうもろこし収穫視察



▲9月5日JAみやざき管内台風被害視察

全国・農政連推薦 参議院議員山田としおの 「農政問題」に斬り込む 第20回ふるさと回帰フェアが 開催されました

9月21日に第20回ふるさと回帰フェア2024が東京国際フォーラムで開催されました。20年以上も運動を続けてこられた高橋理事長の執念と関係者の皆様の熱意と忍耐力には感服するばかりです。

思い起こせば、第1回目のフェアは、2005年に大手町の旧JAビルを中心としたエリアで開催されました。旧JAビルは、地下鉄丸の内線の大手町駅の真上にありました。

私は、当時、JA全中の役員を務めており、それもあつてか、「人集めのために、コメを配りたいから用意してくれ」と、当時事務局長だった高橋さんに頼まれました。先着1000名にコメを1kgずつだったと思いますが、かなり好評でした。

当時の主催者発表では、来場者8千人、出展いただいた自治体は、わずか48だったそうです。それが、今や2万人以上の来場者があり、出展自治体・団体数は延べ670にのぼったそうです。ふるさと回帰・地方移住への関心の高さがうかがえるとともに、立派に国民運動になってきたなあと感慨を新たにしているところです。

ふるさと回帰運動は、当初、戦後の経済成長を支え、定年を迎えた団塊の世

代の皆さんに、ふるさとである地方に帰ってもらい、その方々の地方くらしを応援するための運動をめざし、労働組合の連合が提起してまいりました。

一方、当時のJA全中の会長は、広島県出身の原田睦民という会長でありました。原田会長は、高齢化や人口減少で地方の農村が活力を失っている現状を憂い、「団塊の世代の皆さん、心のふるさとである地方に帰ろう」と呼びかけ、都会ぐらしの間に身につけた知識・経験・人脈を活かして、地方の活性化に活躍してもらいたいと常々おっしゃっていました。

今は亡き立松和平初代理事長、それを継いだ見城美枝子前理事長、高橋公(ひろし)現理事長、そして、亡くなられてちょうど10年になります。応援団長として厳しい意見をいただいた、俳優の菅原文太さんをはじめとする関係者の情熱に敬服いたします。大切な「日本」と「ふるさと」を作り上げるために、ふるさと回帰フェアが今後ますます盛況で発展していくことを期待しています。



▲養豚協会の要請を受ける